

質問書に対する回答③

（件名）常磐自動車道 谷和原管内遮音壁設置工事

No.	質問箇所	質問事項	回答
1	経費の工種区分	本物件の諸経費を算出する工種区分は遮音壁の新設ですか。それとも修繕でしょうか。 ご教示願います。	「遮音壁・標識等（修繕）」の適用を想定しています。
2	特記仕様書20-3 事前調査	事前調査及び試掘を行う際の交通規制費用は単価表の交通規制工に含まれますか。 含まれない場合、共通仮設費の率計上分に含まれると考えますか。それとも、共通仮設費に積み上げとして計上しますか。あるいは、別途協議になりますか。 計上する場合、それらの規制種別・回数等、ご教示願います。	事前調査及び試掘の際の規制費用は交通規制工に含まれます。 個別の作業に対する規制種別及び回数の定めはありません。
3	特記仕様書20-6 遮音板取替工	新材による取替と記載がありますが、構造図がありません。 以下の①～⑩の仕様をご教示願います。 ①遮音壁の施工基面からの高さは何mですか ②支柱間ピッチは2mか4mか ③低騒音型固定金具のサイズは図面22/23のどれか ④最上段は収納装置付きの上部遮音板を設置するか中段用の遮音板か ⑤中段用の遮音板は1スパン当たり何枚か ⑥最下段は下部板か中段用の遮音板か ⑦分岐型遮音壁を設置する区間の最上段は収納装置付きの上部遮音板を設置するか ⑧分岐型遮音壁を設置する区間の最下段は下部板を設置するか ⑨上記④～⑧のパネル仕様は標準図集の仕様のとおりで高さ等の端尺はないか ⑩遮音板落下防止ワイヤーの仕様（φとワイヤー長）	①支柱設置面からの遮音板設置高さは最大（分岐型遮音板）で5mです。なお、支柱設置面の施工基面からの高さは5mです。 ②支柱間ピッチは2mです。 ③固定金具サイズはH150用です。 ④最上段は、収納装置付きの上部遮音板です。 ⑤中段用遮音板は1スパン当たり9枚です。 ⑥最下段は中段用遮音板です。 ⑦最上段は収納装置付きの上部遮音板です。 ⑧最下段は中段用遮音板です。 ⑨パネル仕様は標準図通りで、高さ等の端尺はありませんが、事前調査の結果等で変更が必要となった場合は、別途協議の対象とするものとします。 ⑩遮音壁標準設計図集PS(L=2m)に記載のワイヤと・設計要領第五集_遮音壁から算出できる最小長さでお考え下さい。 ご質問につきましては、11月15日付訂正公告1にて特記仕様書へ取替内容や標準図記号等条件を記載しておりますので、当社ホームページからご確認ください。
4	特記仕様書20-6 遮音板取替工	遮音板取替工はどのような車両での施工を想定していますか。またその車両の揚程をどの程度で想定しているかご教示願います。	令和6年度版土木工事積算基準(4週8休)P21-20に記載の橋梁部施工の標準的な機械、上記①の施工が可能な揚程で想定しております。
5	特記仕様書20-6 遮音板取替工	A1の取替において支柱に3箇所孔明け加工を施しますが、孔明けの詳細な位置をご教示願います。	11月15日付訂正公告1にて特記仕様書へ遮音板落下防止ワイヤ、支柱回転防止ワイヤ標準図記号を記載しましたので、当社ホームページからご確認ください。
6	金抜き設計書 項目番号16-(3)	標識の基礎ぐい（鋼管ぐい）施工は、アースオーガ施工の打込み機械を使用しますか。	令和6年度版土木工事積算基準(4週8休)P20-6に記載の標準的な施工機械を想定しております。